

令和8年度活動方針・重点目標

I 活動方針

次代を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、心身ともに健やかにたくましく成長することを願い、昭和41年から続けられてきた青少年育成県民運動は、県内各地で青少年の健全育成や非行防止などの様々な取組が展開されている。

この運動に支えられ、多くの青少年は自らの夢や希望の実現に向け努力し、明るく健やかに成長しており、スポーツやボランティアなど様々な場面で活躍し、社会の重要な役割を担っている。

その一方で、少子高齢化や核家族化の進行、地域の連帯感の希薄化、情報化社会の進展など、社会環境の急速な変化が青少年の意識や行動に大きな影響を及ぼし、青少年の非行、いじめや不登校、ニートやひきこもり、インターネットが介在する問題行動など、青少年を巡る問題は複雑・多様化している。

そうした今、青少年の育成は最も重要な課題であり、地域の果たすべき役割は一層重要なものとなっている。

令和8年度も「育てよう 未来を見つめる かがやく瞳」のキャッチフレーズのもと、青少年が未来への夢と希望をもち、社会性と豊かな人間性を育みながら健やかに成長できるよう、地域を構成する全ての団体や住民一人ひとりが共に手をつなぎ積極的に地域づくりに参画することを目指し、青少年育成県民運動を展開していくものである。

II 重点目標

1 健全な家庭づくり運動を進めよう

親子の絆を支える家庭の大切さや家庭のもつ本来の役割について再認識し、家庭が「憩いの場」、「教育の場」、「明日の力を生み出す場」となるよう「家庭の日」の普及、啓発に努める。

2 人と人とのつながり、命を大切にする心を育てよう

地域の希薄化した連帯感を再生し、青少年の共感する心、思いやりの心を育むため、コミュニケーションの入り口である「あいさつ」運動のより一層の推進に努める。

命の尊さや大切さを実感させる機会づくりを、家庭・学校・地域社会が一体となって推進する。

3 青少年の自立と社会参加活動を進めよう

青少年が社会の一員として、主体的に判断し、行動できる資質や能力を身につけるため、社会のあらゆる場面での参画や社会との関わりを体験的に学べる場や機会の拡充に努める。

また、困難を抱える子ども・若者の自立支援に向けた気運醸成を図る。

4 青少年の非行防止とよい環境づくりを進めよう

問題行動や非行を未然に防ぐため、啓発活動や地域活動の推進に努めるとともに、有害環境の浄化や犯罪の起きにくい生活環境づくりに対する地域社会の機運を高め、安全・安心な地域づくり運動の推進に努める。

5 県民運動推進体制を整備しよう

青少年育成県民運動を一層推進するため、会員の拡充及び新たな課題への対応に努め、関係機関・団体との連携を強化し、推進体制の整備を図る。